

# 令和7年度北名古屋市

# 災害ボランティアセンター 設置運営訓練 活動報告

## どんな訓練？

災害が発生すると市は「災害ボランティアセンター」の設置を北名古屋市社会福祉協議会に要請します。災害ボランティアセンターでは住民の困りごとを聞き、ボランティアの受け入れを行い、マッチングをします。

北名古屋市社会福祉協議会では、毎年設置運営訓練を実施しています。

今年度は令和8年2月7日（土）に開催し、運営者・駆けつけボランティア役として約70名の方にご協力いただきました。ご参加ありがとうございました！

## ニーズ受付・現地調査

今年度初めて  
実施

住民役と職員役に分かれてkintoneを使ってニーズ（住民さんの困りごと）を聴き取る訓練を実施しました



## 事前オリエンテーション

活動の説明や心得をご説明しました。



## 受付

二次元コードでボランティアさんの受付を行いました。



## 活動紹介

どんな活動があるか？をご紹介し、やりたい活動に付箋を貼っていただきました。



## 活動オリエンテーション

活動場所の被災状況が分かるように拡大地図を配置しました。



## 資機材

カードを使った訓練となりました。貸した資材の記録をカメラで行いました。



## 報告

報告も二次元コードで実施しました。人が混雑しないように工夫しました。



## 体験コーナーA

### 重さ体験

北なごや防災ボランティアさんが避難する時のリュックの重さ体験をしてくださいました。



## 体験コーナーB

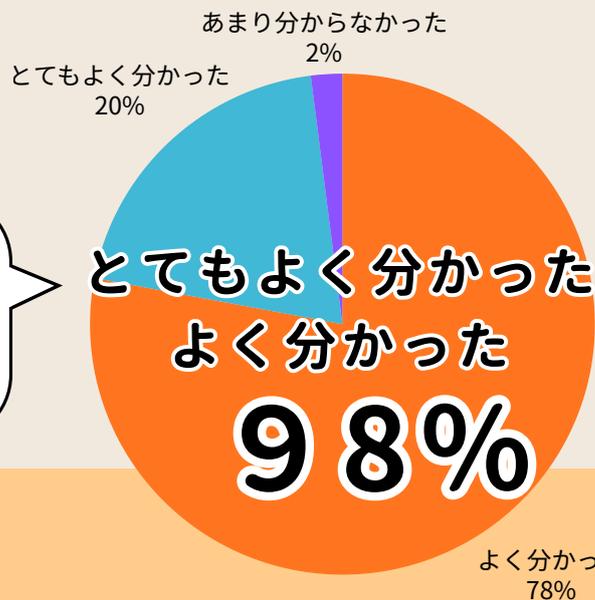
### 発電機等の体験

災害協定を結んでいる株式会社有電さんに発電機の操作方法や災害備品の展示していただきました。



## アンケート結果

災害ボランティアセンターを知ることができましたか？



## 皆さんからの感想

- ・初めて参加して受け入れ側の準備が大変だと感じた。日頃からの準備や訓練の必要性を感じた。
- ・初めて災害ボランティア関係の活動に参加させていただきましたが、より一段災害時の対応等に理解が深まりました。
- ・一般住民への普及、広報活動が必要
- ・経験がないボランティアが多く集まった時の対応(指示等)は大変だと思いました。
- ・スペース、動線の確保が課題
- ・実際のボランティアに参加することを想定すると訓練などの必要性を感じました。ボランティア活動も参加と体験が大事と思います。